

『堺かるた』には、「利よりも害 港つぶした 大和川」と書いてあり、大和川はマイナスイメージが強かった。しかし、300周年の堺で、大和川と堺のかかわりを見つめ直し、歴史から学びとりくみがすすんだ。

## 300年前堺にやってきた大和川

大和川つけかえルートはいくつかあったが、依網池に大和川が貫通し、浅香の谷・狭間川に大和川を合流させたらしい。浅香山では、工事に苦勞したという伝承がある。付け替えの際の架橋は大和橋だけだった。



「堺住吉祭礼図屏風」堺市博物館  
大和川付け替え以後も、「堺の住吉さん」と言われるほど、地域のつながりは深かった。



紀州街道に架かる大和橋。御渡り神事の様子。現在は途絶えているが、300年記念で昨年行われた。



「遠里小野村大絵図(写)」付け替えによって村が分断された様子。

## 堺の繁栄の歴史と大和川



「堺湊土砂埋没状況図(写)」堺市立中央図書館  
堺の港が土砂で埋没していった様子。  
堺では、砂、水害、塩害と戦いながら、新地を開き、港を築き、繁栄の歴史を作っていた。

「摂泉堺浦波止再堀細見図(写)」堺市中央図書館  
港をつくり変えている様子。改修は6回行われたらしい。大和川河口には新田が広がっている。



「泉州堺湊新地繁栄之図」堺市立中央図書館  
堺の人たちがたくましく復興していく様子。明治時代は、伝統産業、商業が栄え、リゾート都市としても開発されていた。



「堺市鳥瞰図」堺市博物館

## きれいだった大和川



浅香山浄水場に渡る木の橋。明治時代。堺の水道は1978年まで大和川から取水していた。



浅香山浄水場沈殿池建設の様子

## あいつぐ水害



室戸台風による被害など、何度も水害に襲われる宿命の中にあつた。



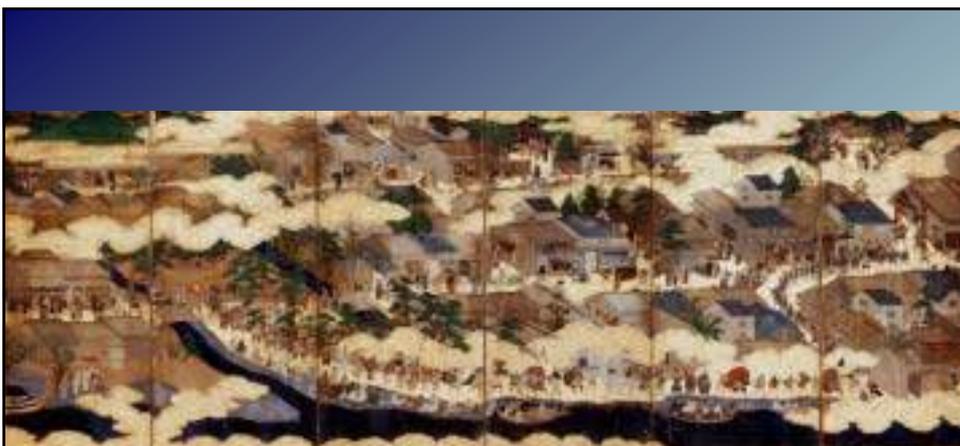
## 川への関心の高まり

大和川の水質はワースト1と言われているが、漁師さん達が河口に干潟造成をすすめるなど、大和川浄化のとりくみがすすんでいる。大和川水系ミュージアムネットワークや自然史博物館プロジェクトなど、川への関心はかつてない高まりを見せている。子どもたちの夢を育てる活動を各地域ですすめたい。遊べる川への復活を目標に、より広い市民の関心が川に向かうよう、ネットワークを広げていきたい。

# よみがえれ大和川 堺からの発信

第3回大和川流域委員会

2004.11.29 堺市立向丘小学校 小松清生



堺市指定有形文化財 住吉祭礼図屏風(すみよしさいれいずびょうぶ)  
右隻・江戸時代初期 堺市博物館



住吉大社のお渡し(堺市史続編より)

住吉大社渡祭写真(堺市史続編第3巻)<sup>2</sup>



紀州藩参勤交代行列図巻(部分) 江戸時代 堺市博物館



遠里小野村大絵図(写) 堺市立中央図書館

4



月洲神社

5



田守神社

6



堺湊土砂埋没状況図(写) 堺市立中央図書館

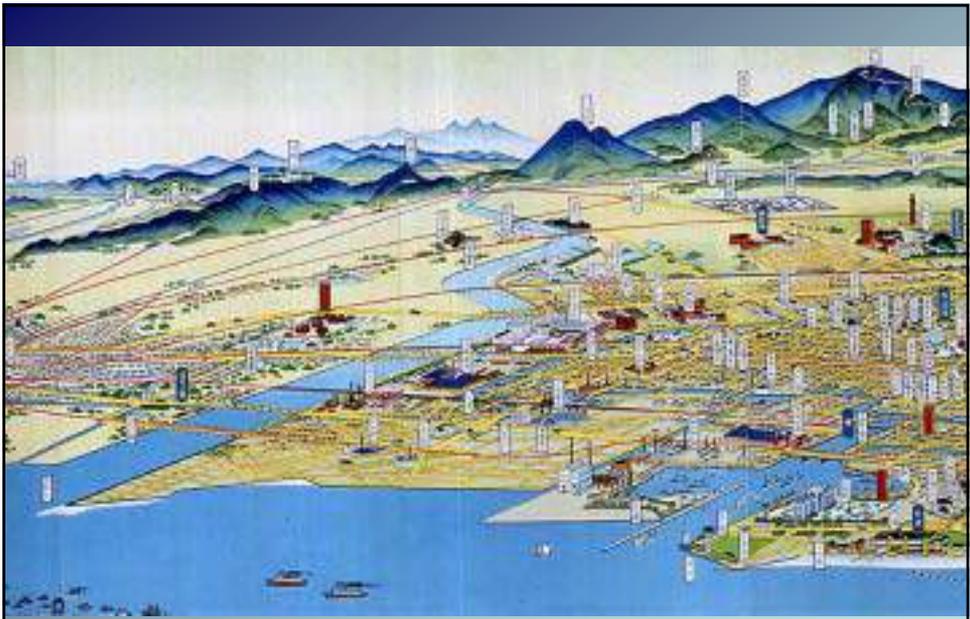
7



撰泉堺浦波止再堀細見図(写) 堺市立中央図書館



泉州堺湊新地繁荣之図(天保7・1836年ごろ) 堺市立中央図書館



堺市鳥瞰図(版画 部分・昭和10・1935年) 堺市博物館

10



浅香山浄水場へ大和川を渡る

11



浅香山浄水場沈殿池建設の様子 明治42年(1909)ころ

12



室戸台風による三宝小学校の被害

13

三宝小学校の被害写真(昭和9年9月風水害記録写真その1)



室戸台風によるまちの被害

南島元町の被害写真(昭和9年9月風水害記録写真その2)

14



室戸台風遭難教員・児童慰霊碑(昭和10・1935年) 九間町 十輪院

15